社会科　学習指導案

　　　　　　　　　貝塚市立第四中学校

授業者 T１教科担任

T２臨時技師

1. 日時　　　　　　令和２年１０月２日(金)　　第３時限
2. 学年・組　　　　第１学年１組
3. 場所　　　　　　第１学年１組　　教室
4. 単元名　　　　　「世界の食料庫、北アメリカ州」
5. 単元目標

(1)北アメリカ州のあらゆる面での世界各国との結びつきについて関心を持つ。

(2)北アメリカ州の歴史・文化を理解する。

(3)北アメリカ州の産業の特色を理解する。

(4)アメリカが世界各国に与える影響について理解する。

1. 食に関する指導の視点

　　　・食べものや生産者に感謝して食べようという意欲を持たせる。(感謝の心)

1. 指導にあたって

【生徒観】

※個人情報のため削除

【教材観】

本単元では、アメリカは世界の食料庫といわれ、適材適所や円形農場を取り入れて大規模な農業を展開していることを知らせ、アメリカと日本の農業の違いを考えさせたい。また、アメリカと日本の農業の違いから、様々な食文化があることを理解させたい。

【指導観】

　普段何気なく食べている食事は、日本で生産されているものだけではなく他国からの輸入で助けられている。本時の授業ではアメリカは、どのような農業を展開しているのかを実際の映像を見せ、日本とアメリカの農業の違いを考えさせたい。

子どもたちが身近に食べている給食を通して他国の食文化に触れ、日本の食事は他国からの輸入で助けられていて生産者への感謝の気持ちを持ち食べものを大切にしようという心を持たせたい。

1. 単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1、関心・意欲・態度 | 2、思考・判断・表現 | 3、技能 | 4、知識・理解 |
| ・北アメリカ州の自然環境や産業について興味や関心を持ち、今日の私たちの生活との関わりなどについて、意欲的に追求することができる。  ・他の生徒と共に学ぼうとする姿勢を持つことができる。 | ・北アメリカ州の産業の特色や世界各国との結びつきなど、北アメリカ州が世界に与える影響について、多面的・多角的に考察してまとめ、自分の言葉で表現できる。 | ・北アメリカ州に関する資料を収集し、そこから読み取った情報を適切に選択して、読み取ることができる。 | ・北アメリカ州の歴史、文化、産業の特色を理解し、世界各国との結び付きに関連付けて、その知識を身に付けている。  ・世界各国との結びつきが与える影響とその意義について理解している。 |

1. 単元の指導計画と評価の計画（全５時間）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | 主な評価規準 |
| 第１時 | 北アメリカ州の国名・地形名を理解する。 | 【4】 |
| 第２時 | 北アメリカ州の歴史・文化・産業の特色をそれぞれ文章でまとめることができる。 | 【2】【4】 |
| 第３時  （本時） | アメリカと日本の農業の違いを説明できる。 | 【1】【2】 |
| 第４時 | 北アメリカ州の工業が発展している理由を、資料を活用し理解する。 | 【3】【4】 |
| 第５時 | アメリカと世界との結びつきを色々な角度から考え、その例を文章でまとめることができる。 | 【2】【4】 |

1. 本時の展開

（1）本時の目標

・アメリカと日本の農業の違いを説明できる。

（2）本時の評価基準

|  |  |
| --- | --- |
| 基準 | 評価方法 |
| A：アメリカの農業の特色を理解し、日本の農業の違いを比較したうえで、文章でまとめることができている。  B：アメリカの産業の特色を理解し、文章でまとめることができている。  C：ワークシートに何も記入がなく、アメリカの農業の特色を理解できていない。 | ワークシート  《Cへの指導の手立て》  ⇒課題１・課題２の際に、周りの人の意見を参考にしても構わない。また、机間指導で適宜声掛けを行う。 |

１１、本時の学習　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　T1●　T2〇

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導者の指導・支援 | 留意点(準備物) |
| 1. アメリカではどんな作物を育てているのか考える。   ・本時の流れを知る。 | ●肉・小麦・とうもろこしなどたくさん意見を出させる。  ●本時のめあてと流れの確認をする。  「アメリカと日本の農業の違いを説明できる」 | ワークシート |
| 1. アメリカの適地適作を知る。 2. アメリカはなぜ円形農場をしているのか考える。 3. 日本の食料自給率を知り、日本の食事は他国からの輸入で助けられていることに気付く。 | ●その場所に適した農作物が育てられていて、小麦・大豆・とうもろこしなどたくさん作られていてアメリカは世界の食料庫になっていることを知らせる。  ●アメリカは円形農場を行い、機械を導入し、効率の良い農業を行っていることを知らせ、日本の農業との違いについて考えさせる。  実際に映像で円形農場を見せる。(日本の農業と比較)  【低コストで大規模な農場】  〇給食のパン(小麦)・肉類等を例にして、日本の食料自給率を伝え、日本の食事は他国からの輸入で助けられていることに気付かせる。  ・食料自給率  ・食事の挨拶 | ワークシート  プロジェクター  写真  食料自給率の媒体 |
| 1. 本時の学習を振り返り、アメリカと日本の農業の違いを書く。 | ●本時の学習を振り返って、アメリカと日本の農業の違いを書かせる。 | ワークシート |